

大阪府総合型地域スポーツクラブ連絡協議会(通称:大阪 SC ネット)

1. 「大阪 SC ネット」の設立までの経緯

「大阪 SC ネット」は、SC 全国ネットワーク設立後、2 年をかけて「クラブが連帯する意味」を模索し、平成 23 年に設立されました。現在、自立へ向けて活発に活動しています。

活発な活動の下地となった設立経緯を振り返ってみましょう。まず、大阪体育協会・クラブ育成アドバイザーおよび広域スポーツセンターが連携し、総合型クラブの課題解決や交流を主目的に、“情報交換会(懇親会)”が必須の「クラブ交流研修会」を平成 22 年度より開催しました。その結果、クラブの連携・交流する場の必要性が共有され、連絡協議会検討委員会が立ち上がりました。

次に、その検討委員会では「日常的に相談できるつながり」を目的に掲げ、大阪を 3 つのブロックに分けた地域連絡協議会を開催しました。教室指導者の情報交換や視察や遠征についての話で盛り上がり、バスをチャーターしたクラブ視察や合同研修会等を各地域連絡協議会主催で行いました。

その後、このような流れを受けて連絡協議会発起人会が立ち上がり、19 クラブが発起人として名乗りでて、大阪のクラブに必要なネットワークとは何かについて喧々諤々話し合いがもたれました。そして晴れて平成 23 年 3 月 26 日「設立 2 年後は事務局独立、自主運営!!」をめざして「大阪 SC ネット」が設立しました。



設立新聞

2. 設立後の取り組み～参加したくなる場を作り出す

1 年目の大阪 SC ネットの目標は、クラブや関係者がとにかく参加したくなる場を作り出すことでした。まずは、前述のクラブ交流研修会の中で大阪 SC ネットが主催するプログラムをスタートさせて、活動の主導権を徐々に大阪 SC ネットへ移した結果、飛躍的に参加者、参加クラブ数が増えました。具体的な内容は、大自然満喫バーベキュー、焼き板によるクラブ看板づくり、「1000 万ドルの夜景(大阪府箕面市)」を眺めながらの温泉&合同新年会等です。



2年目に入り、自立を意識した活動が理事会の共通認識となり、大阪 SC ネットの自主事業が本格的にスタートしました。平成 24 年度は、財源（各クラブ 1 万円）から各地域連絡協議会へ一定額支援し、近隣クラブの視察バスツアー、法人格取得クラブ主催の勉強会、ウミホテル観察会とタベの集い等を計画しています。

3. 連絡協議会のキーは理事会～“楽しむ”をモットーに

大阪 SC ネットの特徴は、理事会の結束力です。1 年目に理事会がまず行った事業が理事宿泊研修会です。時間の制約なく、大阪府内の総合型クラブについて大いに語りました。この研修会をきっかけに理事の結束力が強まり、連絡協議会は勢いよくスタートしました。

この時点で理事会は、「理事も楽しむ、事務局も楽しむ、参加クラブも楽しむ」をモットーとして掲げました。

1 年目の理事会は、オフィシャルで 8 回（うち、1 回宿泊理事会）実施しました。理事会では、「大阪における連絡協議会とは？」を常に自問しながら方向性を模索してきました。

2 年目に入り、月 1 回のペースで定期理事会を開いています。平成 24 年 5 月現在の動きは「自立」に向けた法人格取得の検討です。連絡協議会の次のステージとしてクラブの「交流・連携促進団体」からクラブを「支援できる団体」への発展をめざして進んでいます。

4. 「つながりプロジェクト」の開始

「まずは、みんながつながる意味を問いましょう。そして他者に頼ることなく、自分たちのことはできるだけ自分たちでやりましょう」、これが「大阪 SC ネット魂」です。

大阪 SC ネットでは 1 年かけてロゴを完成させ、「つながることで出来ること」を目的とした「つながりプロジェクト」を開始しています。「つながりプロジェクト」第 1 弾は、クラブユニフォーム（グッズ）の協同購入です。大阪 SC ネットがオリジナルプリント制作会社と提携し、各クラブが大阪 SC ネットを通すと安価で購入できる仕組みです。作成物には、連絡協議会のロゴをプリント（無料）していただくことが唯一のルールとなっています。

大阪 SC ネットは、この「つながりプロジェクト」で府内のクラブをますます盛り上げていきます。



（松田雅彦 大阪 SC ネット顧問、祐末ひとみ 大阪 SC ネット事務局）

【大阪府総合型地域スポーツクラブ連絡協議会事務局】

〒556-0011 大阪市浪速区難波中 3-4-36 BODYMAKER コロシウム（大阪府立体育会館内）

[TEL:06-6643-5234](tel:06-6643-5234) FAX:06-6630-6110 事務局：祐末さん